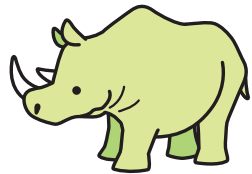


「オさい」 ってなに?

「サイ」ではありません



「歳」でもありません



「妻」でもありません



「菜」でもありません



「オ」は、
荷物の単位です。

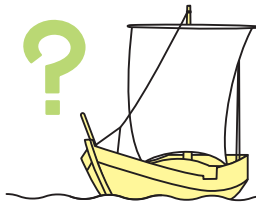


「オ」アラカルト

昔、「千石船」という船がありました。
この船は江戸時代中期以降、全国に普及しました。
その名は米 1,000石を積める能力をもつ大型荷船の俗称でした。
江戸時代に入って国内海運(舟運)が発展普及し、
とりわけ大坂 - 江戸間の海運の主役をなしました。
最大の船は 2,500石も積むことができたといえます。

千石とはどれほどの
荷量なのでしょう?

1オ × 10 = 1石なので、
「千石は 10,000オ」です。

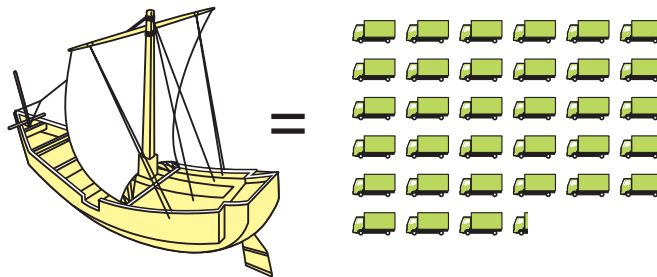


千石船は、4tトラック換算で何台分の米を
運んだのでしょうか?

4tトラック1台で 300オ 積載と仮定すると…

※4tトラックの最大積載量約 2,400kg ÷ 8kg (1オ) = 300オ

千石 ÷ 300オ = 33.3台
(10,000オ)



4tトラック約 33.3 台分の積荷

……となります。

江戸時代の船がこんなにお米を運べたなんて、
すごいですね。

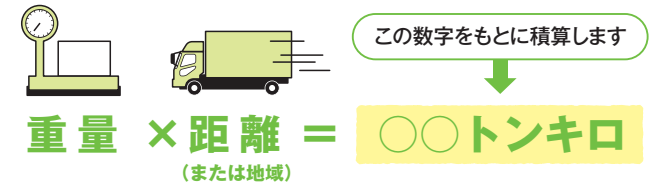
(株) 帝北ロジスティクス

〒960-8031 福島市栄町 3-22 帝北ビルディング 6F
TEL 024-523-1321 FAX 024-523-1325

タリフ (料金表) について

タリフは、荷物をいくらかで運ぶか決める際、基準になる価格表 (運賃表または料金表) のことです。

トラックでは、重量と距離 (または地域) をかけたトンキロが積算の根拠となります。



厳密には各地方運輸局別の「標準運賃表」をタリフと呼んでおり、
貨物自動車運送事業法では標準運賃表を参考に定めた運賃を、事業者
が各地方運輸局に届けることになっています。

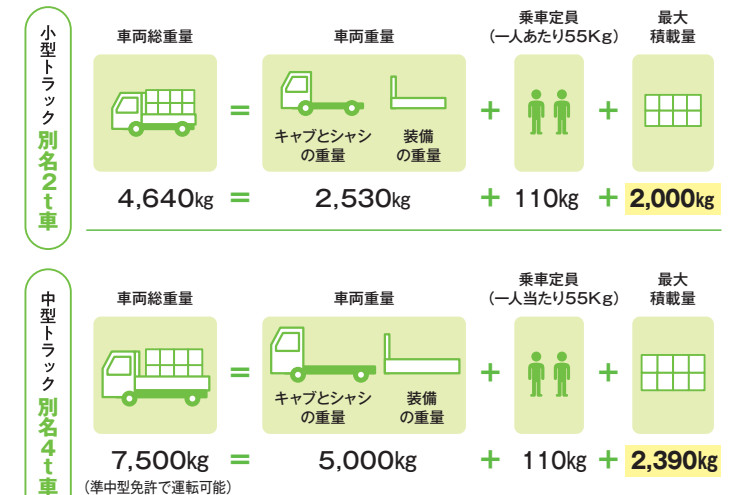
各運送会社によってタリフ内容は違いますが、「弊社は○○年のタリフを使っています」という言い方をします。

タリフの語源

tariff (関税) という単語は、「通知、指図」を表すアラビア語から来ています。アラビア語からラテン系のイタリア語やフランス語を経由して英語に入っています。元は海運業の通商・貿易の中で使われていた言葉のようですが、関税→関税表→関税率→(鉄道などの) 運賃表→(ホテル・レストランなどの) 料金表……と意味が広がっていったようです。

トラックと最大積載量の関係

トラックのサイズは、一般的に2t車、4t車、8t車と呼ばれます。その名前から、4t車は貨物を4t積載できるトラックと思ってしまうのですが、実はそうではありません。準中型免許で運転できる車両総重量は7.5tまでなので、車や装備、乗員の重さを引くと、4tの荷物は積めないのです。

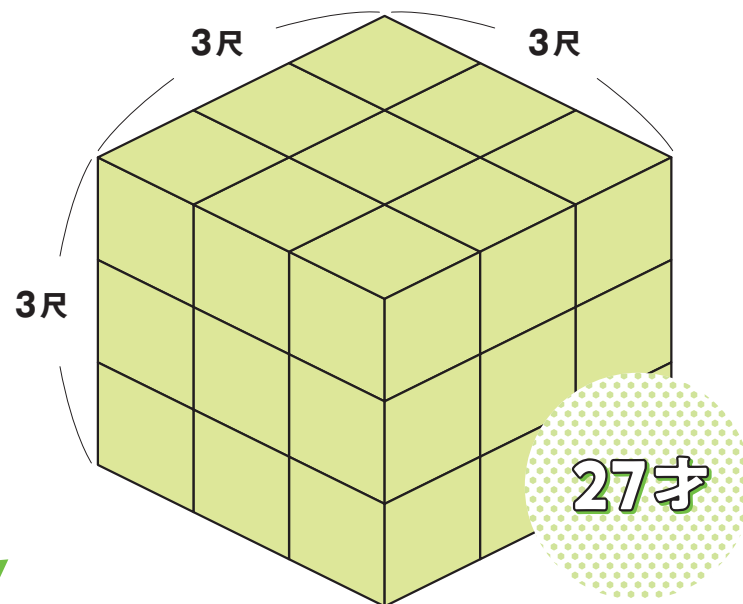


※車両重量は車種によって異なります

物流業界で使う「才」とは、
どういう単位ですか？

Q1

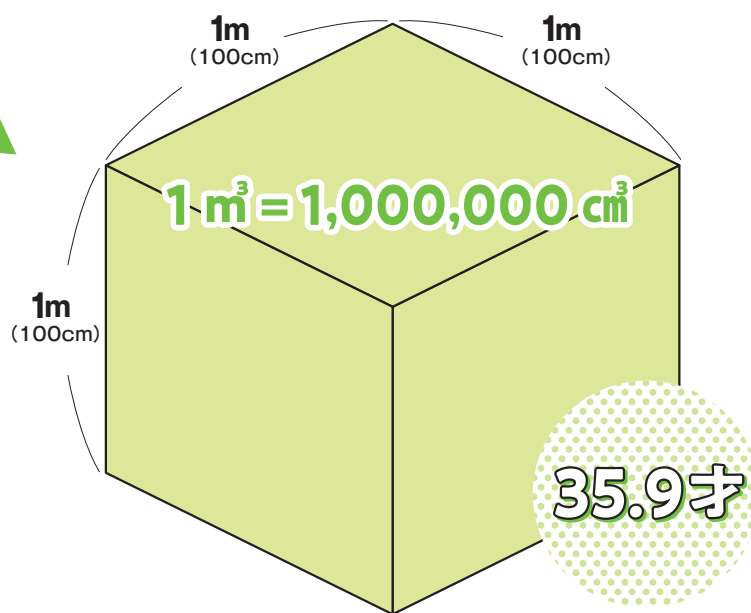
3尺³だと…



1才の段ボールが27個あります(27才)。それで、積み荷の
だいたいの目安がつきますね。

縦・横・高さが3倍になると、体積は27倍になります

1m³だと…

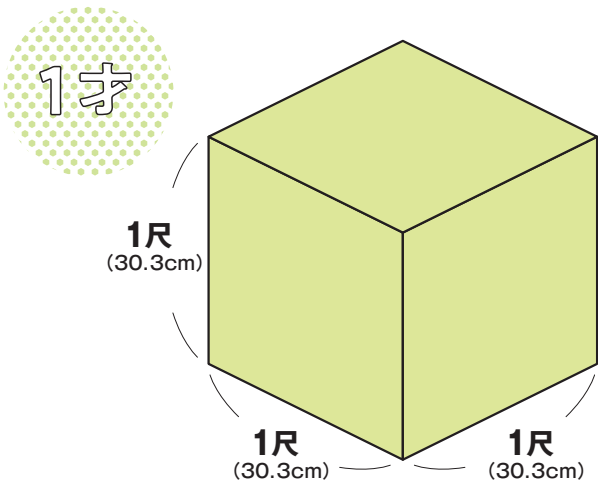


$$\left[\frac{1,000,000 \text{ cm}^3}{27,818 \text{ cm}^3} = 35.9 \text{ 才} \right]$$

Answer

1才は、1立方尺の体積(1尺×1尺×1尺)の
ことをいいます。1才は約27,818cm³です。

尺は現在使わないので、約30.3×30.3×30.3cmの立方体の体積を
1才といいます。
これを目安として、トラック、船荷の積荷計算に使います。



1才… 27,818cm³

水なら27.8リットル



便宜上

1才 = 8kg (10kg*)
として使用しています

*会社によっては 10 kg の場合もあります

物流業界の料金計算が
「実重量」「容積重量」の二本立てを
しているのはなぜですか？

Q2

Answer

物流業界では、よりフェアな輸送費設定のために、「実
重量」のほかに「容積重量」という尺度を設けています。
両者を比較して「大きい」ほうを算定の基準とします。

なぜかという… たとえば、2tトラックは、2tまでしか貨物を
積みたくないトラックですが、

- 貨物がレンガや飲料水など、小さくとも重いものを積むと、スペースに余裕があっても、重さの制限で積みません。
- 逆に羽毛、毛糸など、容積は大きい軽いものは、2tトラックにめいっぱい積んでも1tもいかないかもしれません。

「実重量」だけの料金基準だと…

重くて小さい貨物だと…



レンガ・飲料水 など

軽くてスペースをとると…



羽毛 など

仮に「実重量」だけで輸送費が設定されてしまうと、重くて小さい貨物の方が、軽いスペースを大きくとる貨物よりも輸送費が高い、というアンフェアな状況を生み出してしまうのです。

このアンフェアをなくすため、
「実重量」「容積重量」の
二本立てで料金設定